

令和4年度
こども総合支援センター「あのえっと」の取組状況について

1 設置の経過

令和4年4月、子どもに関わる様々な相談（育児、発達、不登校、いじめ、虐待等）にワンストップで対応し、相談の内容により関係機関との調整・つなぎ役を担うため、こども総合支援センターを設置した。従来のこども相談室の業務に加えて、教育センターで教育関係の相談にあっていた指導主事や公認心理師等を配置し、体制を整えた。

2 相談の実績

(1) 相談件数

相談の方法	電話	面談	メール	合計
件数	1,099	93	11	1,203
内連携数	325	34	8	367

・全相談の約3割は、学校や保健センター等関係機関と情報共有・連携支援等を行った。

(2) 相談内容

分類	育児全般	発達関係	学校関係	不登校	家族関係	幼・保育園	食・健康	虐待	いじめ	その他	合計
件数	157	142	132	98	63	56	29	16	14	496	1,203

(3) 相談対象者の内訳

対象者	乳幼児	小学生	中学生	高校生	19歳以上	不明・その他	合計
件数	407	540	104	56	17	79	1,203

(4) 相談者の内訳

相談者	保護者	関係機関	こども本人	その他	合計
件数	983	69	7	156	1,215

・保護者からの相談が約8割を占める。

(5) 情報提供、情報共有、連携支援等機関（紹介機関、庁内所属は除く）

こども広場じゃん・けん・ぼん、こども広場このゆびとまれ、地域子育て支援センター教育・保育施設（保育園・幼稚園・認定こども園等）、県子ども支援センター、県心の支援課学校生活相談センター、県精神保健福祉センター、北信教育事務所、県中央児童相談所、長野中央警察署、市内外医療機関、他市子育て支援関係課

3 発達支援事業

(1) すくすく相談

乳幼児の精神・運動発達や言語発達について、保護者の疑問や不安について相談に応じ、対象児に適した対応の方法や次の支援の場を紹介する。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
延べ件数（件）	200	210	181	162

(2) すくすく広場 概ね月1回開催

乳幼児健康診査、2歳児健康教室等の結果、精神・運動発達、言語発達、社会性やコミュニケーションの発達、親子関係等において経過観察が必要と認められた未就園の幼児と保護者に参加を促し、保護者が児の特性を理解し、安定した親子関係を築くために、継続した発達相談、保健相談、育児相談を行う。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実施回数（回）	106	106	75	108

(3) あそびの教室 概ね週1回開催

精神・運動発達、言語発達、社会性コミュニケーションの発達、及び親子関係において何らかの問題が心配される幼児に対し、安定した親子関係への支援、生活全般への支援、特性や障害の理解、受容への支援、関係機関との連携の支援を行う。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実施回数（回）	194	171	177	190

(4) にこにこ園訪問

発達に支援が必要な園児について、関係機関と連携し園や保護者に対して相談・支援を行う。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
訪問延べ回数（回）	772	811	561	681

(5) 乳幼児発達健診

精神・運動発達、言語発達、行動面において発達に何らかの課題があると思われる乳幼児に対し、診察等を行い早期支援と合わせて二次障害の予防を図る。子どもの持つ特性や課題を、医学的立場から明らかにしアドバイスすることにより、保護者の育児支援や保育的な環境を整える。

小児科医師、言語聴覚士（年間 40 回）

(6) はぐくまファイル（長野市サポートブック）の作成・配布

発達に支援を必要とする子供の成育歴や医療、療育、教育の情報を保護者が記録・整理し、支援に関わる関係者が子どもの情報を共有することで継続した支援が行えるように配布。

平成 27 年度に関係課・関係機関と協力して作成し、平成 28 年から配付

令和 4 年度 配布数 158 冊

(7) 親子関係スキルアップ講座

子育て方法等のスキルアップを図るため、子育てに悩みや難しさを感じている保護者を対象に、子どもの行動の理解や子どもとの接し方、自分自身をコントロールする方法等を学習する講座（ペアレント・トレーニング）を開催する。

対象者 3歳から概ね 10歳までの子どもを持つ保護者

内容（令和 4 年度）

①観察上手になろう

②ほめ上手になろう

③伝え上手になろう

④聞き上手になろう

4回シリーズを3コース実施 参加人数延べ 97人